

## 2級 工業簿記 模擬問題

### 第1問

次の1～5について、直接材料費、直接労務費、間接材料費、間接労務費、間接経費のいずれかに分類し、解答欄に記入しなさい。(20点)

1. 自動車製造会社で自動車塗装作業に従事する工員の法定福利費
2. 電子機器会社において、直接工が本社で研修を受ける際に要した旅費交通費消費額
3. 船舶製造工場において、組立工が船舶を組立作業に従事しているときの賃金消費額
4. 製薬会社で特定の錠剤の添加剤として使用されるデンプンの消費額
5. 製品の仕上げとして使用したやすりの消費額

**第2問** 以下の1～6の取引は、受注生産によりたこ焼き機器を製造・販売しているCMC製造株式会社で行われた一連の製造・販売活動の一部である。次の中から最も正しいと思われる勘定科目を用いて、これらを仕訳しなさい。(24点)

仕	掛	品	材	料	売	掛	金	売	上	原	価
現		金	売	上	賃		金	製			品
買	掛	金	製	造	間	接	費	発	送	費	当
										座	預
											金

1. たこ焼き機器 150 個（売価：3,800 円/個）の注文を受けたため、素材 250 kg（840 円/kg）とネジ 12 kg（220 円/kg）を購入し、代金は掛けとした。なお、当方負担の発送費 2,100 円は現金で支払った。
2. たこ焼き機器を製造するために、1. で購入した素材 150 kg とネジ 8 kg を消費した。
3. たこ焼き機器の製造にさいし、直接作業時間は 80 時間、間接作業時間は 15 時間、段取時間は 2 時間であった。なお、実際消費賃率は 1 時間当たり 1,200 円であった。
4. たこ焼き機器の製造間接費配賦額、上記の分を含めて、180,000 円であった。
5. たこ焼き機器が完成した。なお、完成品原価は上記のもの以外発生していない。
6. 完成品を顧客に引き渡し、代金は掛けとした。先方負担の発送費 3,000 円は現金で支払った。記帳は売上原価対立法による。

**第3問** 単純総合原価計算を採用している CMC 製造株式会社における先月の<生産データ>と<原価データ>は下記の通りである。解答用紙の空欄に入る金額を求めなさい。なお、材料は始点で全量投入され、月末仕掛品の評価は先入先出法による。また、解答用紙の?は各自で考えること。(16点)

<生産データ>		<原価データ>	
月初仕掛品	1,800 kg (仕上り程度 70%)	月初仕掛品原価	
当月投入	10,200 kg	直接材料費	720,000 円
合計	12,000 kg	加工費	718,200 円
月末仕掛品	2,000 kg (仕上り程度 50%)	当月投入原価	
当月完成品	<u>10,000 kg</u>	直接材料費	4,284,000 円
		加工費	5,454,400 円

**第4問** 次のア～オは以下に示した勘定の空欄①～⑤のいずれに入るのが最も適当か。ア～オの記号で答えなさい。(20点)

- ア. 今月末までに顧客に引き渡していない製品の原価
- イ. 製造間接費を製品に配賦した
- ウ. 工場長の給料
- エ. 工員の作業服の消費額
- オ. 今月中に顧客に引き渡した製品の原価

材 料			
先月繰越		仕掛品	
諸口		製造間接費	①
		次月繰越	

賃 金			
諸口		未払賃金	
未払賃金		仕掛品	
		製造間接費	②

製造間接費

材	料	①	仕	掛	品	③
賃	金	②				
諸	口					

仕掛品

先	月	繰	越		製	品	
材		料			次	月	繰
賃		金					
製	造	間	接	費	③		

製品

先	月	繰	越		売	上	原	価	④
仕		掛	品		次	月	繰	越	⑤

売上原価

製	品	④	月	次	損	益
---	---	---	---	---	---	---

**第5問** 以下は、CMC工業株式会社の5月の取引に関する資料である。これらの資料にもとづいて、(1)解答用紙の原価計算表を完成しなさい。(2)5月31日に棚卸減耗費を間接経費として処理した時の仕訳を答えなさい。なお、材料元帳の?は各自で考えること。(20点)

1. 当社は個別原価計算を採用しており、顧客の注文に応じて工業用の機械を製造している。完成後は直ちに顧客に引き渡している。
2. 当月の直接材料費の月初有高は144,000円(360個)、仕掛品の月初有高は506,000円(直接材料費126,000円、直接労務費180,000円、製造間接費200,000円)であった。なお、当社では直接材料としてY材料のみを用いている。
3. 当月中に製造に従事した製品に関する情報は次の通りであった。

製造指図書番号	#802	#803	#804
製造着手日	4月22日	5月7日	5月20日
完成(予定)日	5月8日	5月26日	6月13日
引き渡し(予定)日	5月15日	5月30日	6月19日

4. 当月の材料元帳

		材料元帳								
		(移動平均法) Y材料								
日付	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
5	1									
	8				60	?	?	?	?	?
	15				200	?	?	?	?	?
	20	1,000	422	422,000				?	?	?
	21				500	?	?	?	?	?
	31				12	?	?	?	?	?
	31				588	?	?			
		?		?	?		?			

5. 当月における製造指図書ごとの直接作業時間は次の通りであった。

製造指図書番号	#802	#803	#804
直接作業時間	340時間	460時間	270時間

6. 棚卸減耗費はすべて正常な範囲で発生したものであり、棚卸減耗費勘定を用いずに直接計上している。
7. 製造間接費は、直接作業時間を基準として実際発生額(棚卸減耗費処理後の2,835,500円)を各製造指図書に配賦している。